

## 施工前の確認・耐荷重の目安値

### 注意 下地条件

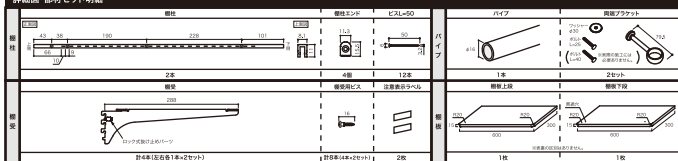
施工する壁面に**必ず下地合板(12mm厚以上)**もしくは、それと同等以上の壁補強を行ってください。

本製品は基本的に重量物を収納するために設計されておられません。耐荷重値以内の収納物であっても、集中的な荷重や、乱暴な積載はお避けてください。

●記載の耐荷重値は等分布荷重の場合の計測結果をもとにしております。それ以外の条件にてご使用の場合はこの限りではありません。

| パイプ                  | 製品重量の目安値               | その他                     |
|----------------------|------------------------|-------------------------|
| 棚板(上段)<br>(パイプ1本あたり) | 10kg以下                 | ※棚板・パイプの接続部分の耐荷重は目安値です。 |
| 棚板(下段)<br>(パイプ1本あたり) | 10kg以下 ※<br>(パイプ1本あたり) |                         |

### 詳細図・部材セット明細

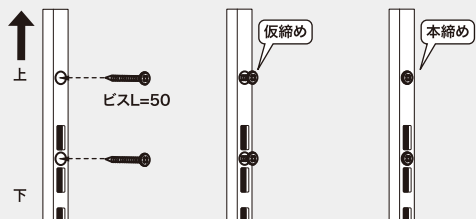


### ① 下穴を開ける (ガイドシート使用)

● 囲み部分・全8カ所のビス止め位置に、キリでφ2～2.5mmくらいの下穴を開け、本紙を取り除きます。

### ② 棚柱(1本目)の 取り付け

棚柱を下穴にあわせて、ビスL=50で約8割くらいに仮締めします。すべてのビス止め位置を仮締めした後、本締めを行ってください。



**注意** 設置する際、棚柱の上下にご注意ください。  
棚柱の端部に**ビス穴が2カ所ある方を上側**にしてください。

## ランドリー収納

## ランドリー可動棚 施工説明書

必ずお読みください

### 棚柱取付ガイドシート

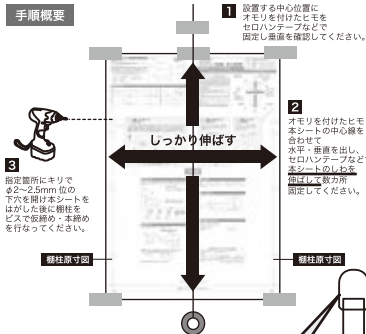
ガイドシートを使って棚柱を取り付ける前に、必ず施工する壁面に下地合板(12mm厚以上)もしくは、それと同等以上の壁補強を行ってください。

### 棚柱取付ガイドシート機能の便利な使い方

- 本シートはランドリー可動棚の棚柱部分のみの図面を原寸大で再現しています。右記の手順で、水平・垂直を確認して壁に固定するだけで、棚柱の取付位置やビスの固定位置が、墨出しをしなくても簡単に割り出せます。オモリとなる穴開き便箋などにヒモを結び、本体取付位置の中心に垂らして壁に固定後、本シート中心線とヒモの垂直ラインに合わせて、水平・垂直をだしてください。
- 水平・垂直を確認できたら本シートを数カ所、セロハンテープなどで止めて固定してください。オモリとヒモは取り外ししてください。
- 本シート固定後、指定位置の中心にキリでφ2～2.5mm位の下穴を開けてください。
- 下穴を開けた後は本シートを取り除き、下記の①～③の施工手順によって棚柱をビスで仮締め・本締めを行ない、棚柱エンドを取り付けてください。
- その後は④～⑥の施工手順によって、棚受・棚板などの取り付けを順次行なってください。

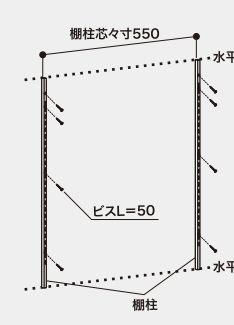
**注意** 紙の伸縮などによって、本紙寸法に多少の誤差が生じる場合があります。最終的には金尺で正確な寸法をご確認ください。

### 手順概要



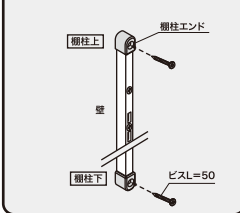
### ③ 棚柱(2本目)の 取り付け

最初に取り付けた「棚柱」と2本目の「棚柱」が水平になるように取り付けてください。



### ④ 棚柱エンドの 取り付け

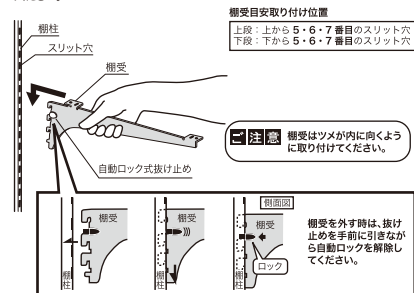
「棚柱エンド」を左右の「棚柱」・上下計4カ所にビスL=50で固定してください。



## 中心線

### ⑤ 棚受の取り付け

「棚柱」のスリット穴に「棚受」を差し込み、爪部をしっかりと落とし込んでください。1本目に取り付けた「棚受」と同じ高さになるように、2本目の「棚受」も同様の手順で取り付けてください。



### ⑥ 棚板の取り付け

「棚受」の上に「棚板」を載せて、ビスL=16で止めてください。



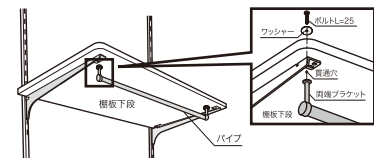
**注意** ●上段・下段で棚板は異なります。必ず取り付け前にご確認ください。  
●R加工部が手前側にくるように取り付けてください。



●取り付けの際、「棚受」「棚板」の落下にご注意ください。

### ⑦ パイプの取り付け

パイプをブラケットに取り付け、棚板下段の貫通穴にボルトL=25で取り付けてください。



### ⑧ 注意表示ラベルの貼り付け

棚板1枚につき棚受片側の内側部分に「注意表示ラベル」を貼ってください。

上段・下段各1カ所ずつ  
計2カ所



### ⑨ 棚板の移動 (確認作業)

棚板取り付け後、棚板を上下に移動し、スムーズに可動できるかの確認を行ってください。  
※棚板の位置を変える時に、棚受の爪部が入りにくい場合は、棚受のビスを少しゆるめて調整してください。

### 建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名: 洗濯機上部収納 ランドリー可動棚 製造者名称: 南海プライウッド(株)  
商品区分: F☆☆☆☆ ロット番号: 製品梱包に記載

| 部材・部位 | 材料名    | 表示区分  | 認定・登録機関 | 認定・登録番号  | 認定登録簿             |
|-------|--------|-------|---------|----------|-------------------|
| 棚板    | アクリル樹脂 | F☆☆☆☆ | 国土省認定   | K-000001 | (一社)日本建材・住宅設備産業協会 |

●この商品は建築基準法に基づく納入品付の認定書となりますので、大切に保管して工事関係者へ渡してください。

問合せ先: 品質管理チーム 087-894-8025

水平・垂直をだす

棚柱 芯々寸 550mm